

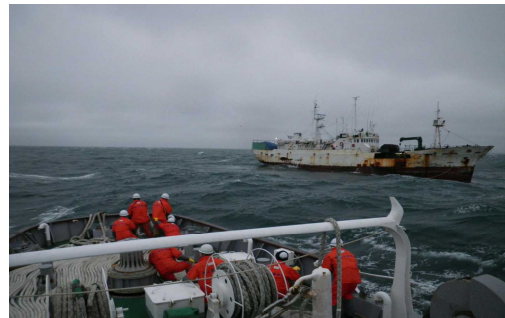
あゆみ年表 ～ 平成23年 ～

23.3.20 東日本大震災捜索救助活動中の巡視船れぶん一時帰港

平成23年3月20日から東日本大震災の捜索救助活動をしていた巡視船れぶんが、稚内港で燃料補給等のため一時帰港した。その際、被災海域での活動概状況の一部を公開した。

23.4.16 巡視船しらかみが座礁直前の機関故障外国船を救助

野寒布岬沖合でカンボジア国籍貨物船P号（496トン、14人乗組）が、機関故障により航行不能との救助要請があった。巡視船しらかみが現場に急行し、海上荒天の中、迅速な救助作業により、野寒布岬の暗岩に座礁直前の同船を稚内港まで曳航救助した。



23.5.27 暴力団による潜水器密漁グループの摘発

警察との共同捜査により、枝幸町の沿岸で潜水器を使用し、なまこ（約400kg）を密漁していた集団グループを摘発した。その後の捜査で、暴力団関係者を含む総勢15名を検挙した。



23.7.4 ご当地うみまる・うーみん（稚内バージョン）完成

海上保安協会稚内支部と協力して、海上保安庁マスコットキャラクター「うみまる・うーみん」ご当地バージョンが完成した。ホームページでデザインを募集し、南中ソーランをイメージした「ソーランうみまる」「ソーランうーみん」は千葉県在住の女性、間宮林蔵をイメージした「間宮うみまる」は大阪在住の女性が発案した。



ソーランうみまる



ソーランうーみん



間宮うみまる

23.9.29 排他的経済水域においてかに籠無許可操業でロシア人船長を逮捕

第一管区海上保安本部千歳航空基地所属の航空機が、宗谷岬東方約50kmの我が国排他的経済水域で、かに籠漁業中のカンボジア国籍U号(30トン)を現認。巡視船艇が同船を急襲し、同船船長を無許可操業容疑で逮捕した。



23.11.14 稚内港入港外国船5万隻達成

稚内港は、昭和23年1月に関税法による開港の指定を受けてから63年目の11月14日に、外国貿易船舶の入港実績が5万隻を達成し、稚内市主催の記念式典が行われた。



23.12.21 灯台のLED化整備

海上保安庁は、灯台の電源を自然エネルギー利用の太陽光発電に、また光源を長寿命のLED灯器にするなどの省エネ・エコロジー化の推進を図り、これにより稚内海上保安部管内では、12月21日声問埼沖灯標の変更工事をもって、所管する61基の航路標識のうち49基の灯台がLED化された。

